

「物流基幹システムの事業継続計画（BCP）」 対応強化のお知らせ

ニチレイロジグループは、大規模災害に備えたリスクマネジメントの取組みの一環として、2018年2月18日より、「物流基幹システム」のBCP対応の強化を実施しました。

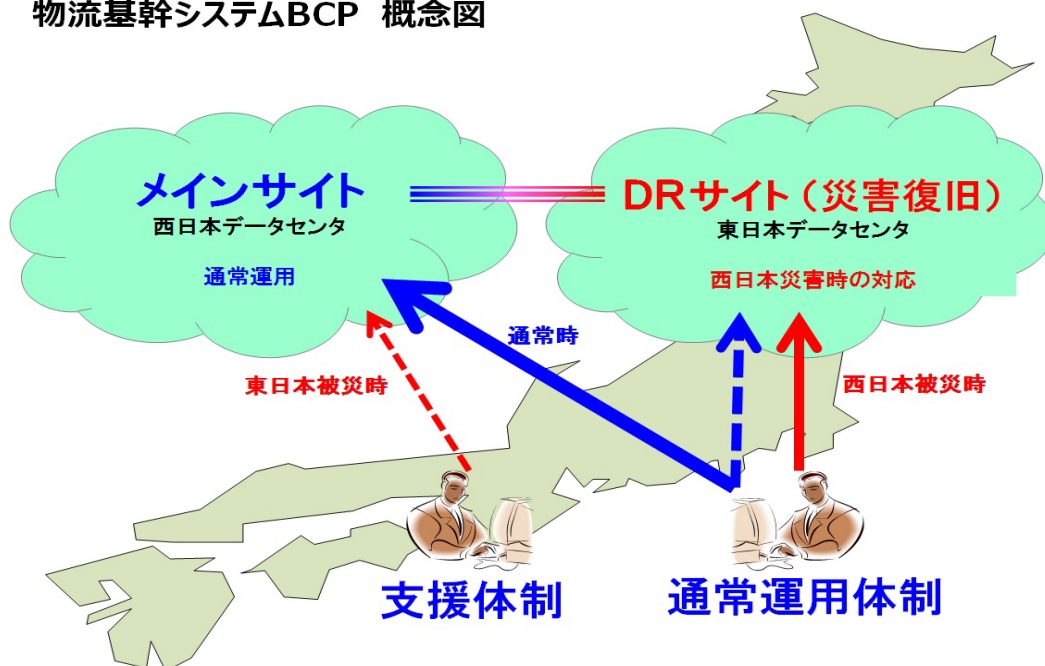
データセンター^{*1}のメインサイトを西日本に置き、首都圏における大規模災害に備え、西日本での被災時には、東日本のDRサイト^{*2}に切り替える「2拠点化」を実現しました。また、最新の「クラウドサービス」を適用し、速やかに全国の業務システムを復旧する体制を構築します。

今後もニチレイロジグループは、ブランドスローガンである「選ばれつづける仕事。」の理念に基づき、取引先様の事業継続に寄与することを目指し、持続可能な物流サービスのライフラインとして「システムのBCP」の先進的な取組みを実践して参ります。

*1 データセンター ファシリティ スタンダード（建物、セキュリティ、電気設備、空調設備、通信設備、設備運用の評価）が最高レベル（ティア4）のデータセンターを2拠点化しています。

*2 DR（Disaster Recovery 災害復旧）に対応したシステムを用意し、ほぼリアルタイムにデータ更新を行います。

物流基幹システムBCP 概念図



速やかな業務システム復旧 概念図

大規模災害の発生時、メインサイトからDRサイトへ切替え、速やかに業務復旧を進めます
目標復旧時間（DR切替発動からオンライン再開までの時間）は約1時間です

